

### 「わたしの平和宣言」

- すべての人の生命を大切にします
- どんな暴力も許しません
- 思いやりの心を持ち、助け合います
- 相手の立場に立って考えます
- かけがえのない地球環境を守ります
- みんなで力を合わせます

## 韓国大邱ユ協 広島ユ協 姉妹提携結ぶ

### 大邱ユ協代表团、広島を訪問

ユネスコが担う「教育・科学・文化・コミュニケーション」の分野で国際交流を図る広島ユネスコ協会と韓国ユネスコ大邱協会の姉妹協会提携協定書の調印式が、同協会代表团を迎えて、六月十七日、会場の広島アンデルセンで行われました。

この提携は、ユネスコが提唱し、国連が定めた本年の「平和の文化国際年」を契機に2001年から2010年へ向けて始まる「世界の子どものための平和の文化と非暴力の10年」に向かう両協会の意向に基づくもので、今後、ユネスコ・ルートによる平和と文化を軸にした日韓交流および広島市が姉妹都市関係にある大邱市との民間レベルでの親善友好の促進に拍車をかけるものとなるでしょう。

梅雨の晴れ間の六月十六日昼下がり、広島空港到着の大邱協会代表团は、旅装を解く間もなく平和公園の日韓の原爆犠牲者慰霊碑に参拝・献花され、翌十七日午前、秋葉忠利広島市長を表敬訪問されました。

調印式は同日午後、会場の広島アンデルセンに両協会代表、来賓として駐在広島韓国総領事曹圭泰氏、広島市三宅吉彦市民局長、広島県日韓親善協会玉木実専務理事、広島平和文化セン



ター、広島市文化財団などの代表者を迎え、当協会役員ら合わせて約四十人が出席して行われました。

式の冒頭の来賓挨拶では、曹韓国総領事が、両協会の交流の発展はもとより北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）とのユネスコ交流をも視野に入れた熱い願いを披瀝された後、広島市三宅市民局長は大邱・広島市姉妹都市の交流の支柱は民間の交流にあるとする期待の言葉を述べら

れ、両協会が今後担う重責を窺わせる一幕がありました。

続いて韓国大邱市長、日本ユネスコ協会連盟理事長のメッセージが披露されました。

次いで、両協会会長挨拶では、大邱協会安徳煥副会長が、突如体調を崩して入院された全達出会長の挨拶を代読、一方、広島

ユネスコ協会北川建次会長は、代表団の遠路の来広を労い、今後の緊密な交流を期する決意を表明しました。

式のハイライト、協定書調印は、日韓両国の立会人のもとマスコミ（NHK、中国放送、広島ホームテレビ、中国新聞、毎日新聞）が放つライトの中で行われ、和絃表装のファイルに収められた日韓両国語からなる協定書が両代表の間で交わされた後、固い握手で調印式が締めくくられました。

式の終わりに両協会から記念品（広島から世界遺産厳島神社が描かれた宮島杵子、大邱からは伝統民俗工芸品の麻の織物ボシャギーお膳の覆い、タピストリー）が相互に贈られました。

調印式の後、記念パーティーに移り、和やかに歓談が行われ親善交流の第一歩が踏み出されました。

#### △代表団日程▽

- ▽6/16 原爆死没者慰霊碑参拝・献花 韓国人原爆犠牲者参拝・献花 歓迎夕食会
- ▽6/17 広島市長表敬訪問 姉妹協会提携調印式 記念パーティー

# 日韓協会会長挨拶 (要旨)

広島ユネスコ協会  
会長 北川建次

韓国ユネスコ大邱協会代表団の皆様、ようこそ広島へおいでくださいました。心から歓迎の意を表します。

美しい山と川に恵まれ、人情味豊かな市民が暮らされる大邱広域市は、広島市の人口に倍する韓国第三の大都市で、これまで優れた人材を多く輩出している誇り高い都市とお聞きしています。そのような都市のユネスコ協会との姉妹縁組を、貴協会のおおらかで誠実なお計らいにより、結ぶことができますこと

を光栄に存じます。当協会会員はもとより、大邱市と姉妹都市関係にある広島市の市民、日本国民にとりましても大きな喜びとするところです。

また、忌わしい記憶を超えて差し伸べてこられた皆様の手を握る今、一層感慨深く思います。

時あたかも今年には、「平和の文化国際年」です。まさに、「平和の文化」を築きつつ、交流を始めるに相応しい年です。

また、六月という月も記念すべき年になりました。半世紀を経て、歴史的な南北対話が始まりました。「対話」はやがて「交流」へと進むでしょう。

日韓のユネスコ協会も、友好親善を深めながら平和を目指して共に生き、共に創る―「共生」と「共創」の道を共に歩むものと確信いたします。

広島ユネスコ協会が、その推進に努めることをお誓いします。

韓国ユネスコ大邱協会  
会長 全 達出

ご多忙の中、調印式にご参席された広島市長代理・三宅市民局長様、在広島総領事・曹圭泰

## 日本国広島ユネスコ協会・韓国ユネスコ大邱協会 姉妹協会提携に関する協定書

日本国広島ユネスコ協会と韓国ユネスコ大邱協会は広島市と大邱広域市との友好親善関係を礎に永続的な発展を推進する。両協会はユネスコ精神の下に会員相互間の友好と国際理解を一層深めて平和と連帯に貢献するため、また、ユネスコが提唱し、国連が定めた「平和の文化国際年」を契機に姉妹協会提携協定書に調印する。

1. 両協会は、この目的のもとに次の分野において相互交流と協力に向けて努力する
  - (1) 国際理解、文化及び芸術に関する事項
  - (2) 学術、教育及び青少年交流に関する事項
  - (3) そのほか、両協会が希望する事項
2. 前条に定めた事業の実施にあたっては、両協会が毎年協議し、合意決定して実施する。
  - (1) 訪問団派遣は、隔年で交互訪問とする。2001年に日本国広島ユネスコ協会が、2002年は韓国ユネスコ大邱協会が派遣し、以後交互に派遣する。
  - (2) 派遣に要する渡航費、滞在費（食費、宿泊費、交通費等）は派遣側の負担とする。
3. 本協定書の有効期間は4年間とする。なお、有効期間後の継続については、両協会の協議に基づき、合意のうえ決定する。
4. 期間中の協定書の改変等については両協会の協議に基づき合意のうえ決定する。
5. この協定書は、同等の効力を有する日本語と韓国語により作成し、両協会は各1部ずつ保有する。

2000年6月17日  
日本国広島ユネスコ協会 会長 北川 建次  
韓国ユネスコ大邱協会 会長 全 達出

様並びに広島ユネスコ協会会長・北川建次様をはじめ協会の皆様方から感謝いたします。

広島市は、ユネスコ世界遺産原爆ドームが象徴するように世界が認める「国際平和の都市」です。美しい公園と川の流れ、街をゆく市民の穏やかな表情、都市は平和に満ちています。

折しも「平和の文化国際年」、意義深い年に大邱協会が平和の都市広島と手を携えて、連帯、提携事業を進めるようになったことは慶賀の至りです。

輝かしい実績をもつ広島ユ協と姉妹協会提携の締結をさせてい

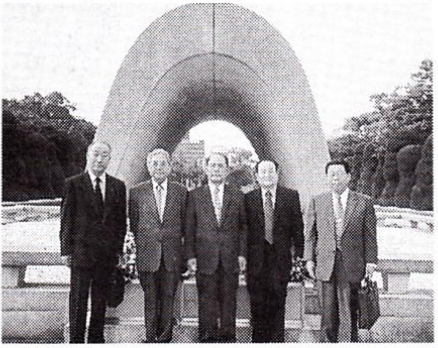
ただいた大邱協会としては、誇りであり、心強く思っています。人類の過去の歴史は、いわば

「戦争の文化」であり、この点を深く反省し、ユネスコ民間運動はユネスコ理念の原点に返って新たな出発をしなければなりません。

私は、この場で、韓日両協会が手を携えて世界平和の道しるべに向い、平和の文化創りのために堂々と第一歩を踏み出すことを提言し、あいさついたしました。ありがとうございます。

### 〈代表団氏名(敬称略)〉

会長・全達出(韓国協会連盟会長)、副会長・安德煥、同・李洪植、常任理事・徐千済



〈左から二人目・全会長、右端・北川会長、平和公園〉

# 二〇〇〇年度総会を開催

二〇〇〇年度総会が五月二十七日、広島アンデルセンを会場に開催され、新年度の事業計画などの重要案件が熱心な審議を経て決定されました。

会議の冒頭、昨年度物故された信井正行顧問、吉田此君会員らに黙祷を捧げ、議事に入りました。

一九九九年度事業についてはそれぞれについて事務局の詳しい評価をもとに審議しました。

また、それに伴う決算も詳しい説明を受け、いずれも承認されました。

新年度事業は、平和の文化国際年関連事業、韓国ユネスコ大邱協会との交流事業、中国プロックユネスコ活動研究会広島開催などの新規事業、ユネスコ活動奨励賞、ユネスコサロン、世界遺産関連事業、高校生のつどいなどの継続事業の審議を行いました。これに伴う予算も併わ

せて、原案どおり承認されました。

併わせて、原爆ドーム絵はがき事業の収支決算、青少年育成基金の収支決算も承認されました。

なお、さきにご逝去された信井正行顧問のご遺族から、葬儀へ参列されたユネスコ協会の方々へ届けるべき香典返しにかえて、協会の活動資金にと、多額のご寄付をいただきました。この寄付金は、国際交流を目的に運用する「国際交流基金」を新設して、大邱との交流等に活用することといたしましたの

で、併わせて報告いたします。

## 二〇〇〇年度役員

◇名誉会長 秋葉忠利 ◇名誉顧問 平岡敬 ◇顧問 永井滋郎、松原博臣、沖原豊、加藤朗一、伊東亮三、深崎敏之 ◇会長 北川建次 ◇副会長 木村進匡 (組織・広報部会担当)、高橋昭博 (国際平和部会担当)、竹沢臣子 (文化部会担当)、光田鈔 (教育部会担当) ◇理事 (組織部会) 〓 常任理事 末重文男、奥中正之、松岡盛人 〓 理事 中谷美保子、岡平裕次、山崎芳彦、国田

## 信井正行さんを偲ぶ

### 新川貞之

自由と民主主義の普及をスローガンに世が移りゆく頃、若かった信井さんは、教育の振興に熱く燃え、社会教育指導者として、広島市教育委員会の重職を、あるいは社会教育施設の管

理運営職を歴任された。また、信井さんは、常日頃、広島大学の森戸辰男学長(故人)を師として仰ぎ、ユネスコ精神を論じ、よく研究されていた。私も県教育委員会の職員として同じような職務にあつた関係で、今さらながら感慨深さをおぼえる。大きくゆれ動いた民間ユネスコ活動も、広島ユネスコクラブ(後の協会)が一九七三年(昭和四十八年)に発足とともに再スタートしたが、信井さんは、それ以来、その発展に尽力された。

の姉妹提携にあたって、当協会から加藤朗一副会長を団長に、信井正行副会長、新川常任理事が派遣された。北京市で調印が行われた後、信井さんは、大切に携行した中央図書館が復刻した「松斎梅譜」を北京市の図書館へ提供し、中国へ里帰りさせた。友好の喜びをかみしめたものである。また、北京市教育局長の案内で、敦煌・莫高窟の文化遺産を見学したあと、砂漠の鳴沙山の断崖を登るが、砂粒に足を埋めながら、信井さんは耐えられず途中で引き返した。山麓で待っていた奥さんが、無理しなくて良かったと、いた

わっておられた、優しいことばが今も耳に残っている。広島ユネスコ協会が結成されて二十五年目の一九九九年一月「新春フェスタ」が催され、会長として信井さんが堂々の発声であいさつをされた。役員会などで時折、咳をされたりしていたので心配をしていたが、旺盛なユネスコ精神をもって常に前向きな姿勢で当たられた信井さんには頭が下がった。

ことし三月二十日、県病院へ見舞に行ったが、その三日後の訃報の知らせに、まさかと耳を疑った。七十四歳とまだ若く、「ヒロシマの使徒」を失い、ユネスコ活動に大きな穴があいたような気がしたが、二〇〇〇年を迎え、平和の文化国際年に韓国ユネスコ大邱協会と当協会との姉妹提携の調印式が行われた。天国から「ようやったのう」と信井さんのメッセージが聞こえたようで、感謝の念でいっぱいである。心からごめい福を祈る。



ありし日の信井さん (1998. 6. 20)

一九八八年(昭和六十三年)中国北京市ユネスコクラブ協会

は耐えられず途中で引き返した。山麓で待っていた奥さんが、無理しなくて良かったと、いた

は耐えられず途中で引き返した。山麓で待っていた奥さんが、無理しなくて良かったと、いた

は耐えられず途中で引き返した。山麓で待っていた奥さんが、無理しなくて良かったと、いた

(文化担当常任理事)

# 1万人達成にスパートを!

## 「わたしの平和宣言」署名

のユネスコ協会は、百万人の署名を、広島ユネスコ協会は一人の署名を目標に取り組んでいます。

九月初旬に国内で集められた署名はユネスコ事務局長、さらに国連事務総長を通じて九月中旬に国連総会へ提出されます。

当協会の自主目標は一人。平和都市・広島協会のとして、この目標を八月末までに達成して日本の、世界の目標達成に貢献したいものです。

### 街に出た署名活動

「わたしの平和宣言」署名にご協力をお願いします。「ユネスコの世界一億人署名にご協力をして!」五月二十一日、広島市随一の繁華街、広島そごう前、広島ユネスコ協会の会員十五人が、全国の四十七の協会と足並みを揃えて全国一斉街頭キャンペーンに参加、行き交う人々に署名を呼びかけました。

ユネスコの提唱で国連が定めた2000年の「平和の文化国際年」。世界の人々に国際年の意義と目的を知らせるためユネスコがノーベル平和賞受賞者たちの起草による「わたしの平和宣言」(1ページ右肩カコミ記事)をつくり、世界の人々一億人の署名を呼びかけ、日本国内

日本ユネスコ協会連盟から届いた専用の幟とポスターを繋いだ横断幕を背に、急ぐ人には署名用紙をチラシ替わりに配り、信号を待つ人、ベンチに座る人には署名を求め、協力者にはワッペン、ミニカレンダーを手渡しました。

当日の目標を「署名の数は問わない宣伝行動」としたため、署名数は七十七人でしたが、参加員の大部分が街頭活動は初体験という事情にも関わらず一時間半にわたる善戦苦闘の末、署名用紙の配付は約五百枚に達しました。

この日の模様は、中国、読売、毎日、産経の各新聞社が取材し、報道されました。

### あと、三千三百人で達成

家庭、学校、職場、地域の中で非暴力、寛容、対話、調和、正義、連帯を心がけ、実行することを訴える平和宣言の内容が



〈街頭署名/そごう前〉

多くの人々の共感を得ていることが、署名協力の状況からも窺われます。

当協会が六月末までに集約し、日本ユネスコ協会連盟に届けた署名数は約六千四百人。内訳は、全地域を網羅した広島市民生委員児童委員協議会の約二千七百人を筆頭に立正佼成会、広島市交通科学館、シンガポール協会、吉島幼稚園、広島信用金庫、西日本キヨスク、朝日生命などの団体・グループ。会員の活動も活発で、正副会長がそれぞれ3ヶ台を大きく超え、足立柳子理事、和泉美佐保会員も3ヶ台を達成して目標達成に貢献中です。

### 八月四日、出前署名

八月四日(金)、広島国際会議場で開かれる「国際シンポジウムと講演」非核の傘を広げよ

う、二十一世紀めざして「会場受付で署名を呼びかけます。これは、日本の署名活動のテコ入れを図る広島長崎平和研究所長の美帆・シボさん(在仏)の要請を受けて主催者である広島平和文化センターから当協会に署名の機会の提供があったものです。

なお、当日は署名活動に止まらず、作家・井上ひさし氏の基調講演のほかに核をテーマにしたシンポジウムが行われます。入場希望の会員には当協会が入場の斡旋をします。

**世界遺産写真展**  
来月九日から広島で

▽八月九日~二十日、デオデオ本店▽写真真百十点▽入場料/五百円(四百円券は事務局へ)▽中国放送主催▽広島市教委ほか後援▽日本ユネスコ協会連盟・広島ユネスコ協会協力

「わたしの平和宣言」署名に次ぐ平和の文化国際年記念事業第2弾として八月十五日、

### 8・15平和の鐘〜平和公園で

全国各地の寺、教会で「平和の鐘」を鳴らすとくみを全国のユネスコ協会が進めています。

「平和の鐘」を同日正午から、撞きます。多くの会員の参加を呼びかけます。

# 広島ユネスコ活動奨励賞

## 今年も公募開始

「ユネスコ憲章の精神に則り、教育・科学・文化を通じて国際理解と国際協力をすすめる活動の育成と推進の一助とする」

（目的）ため、当協会結成二十五周年を記念して始まった広島ユネスコ活動奨励賞（広島ユネスコ協会主催、広島市教育委員会後援）は、三回目を迎えて公募を開始しました。

第一回、第二回を通じて学校部門8校、社会部門7団体が表彰されていますが、これまで表彰された学校、団体は、受賞を契機に活動がさらに積極的に進んだという報告もあり、本事業



### 公募要領

- ▽奨励対象／国際理解、国際協力、国際交流に関する継続的活動
- ▽部門／学校部門（広島市内小学校、中学校、高等学校）、社会部門（広島市内公民館などで活動する団体）
- ▽応募方法／募集要項（請求により郵送。学校、公民館等は配付済）により応募用紙に事業内容、活動経過等を記入して応募
- ▽問い合わせ・提出先／広島ユネスコ協会（郵便番号73210068 広島市東区牛田新町1-8-3 牛田公民館気付）

- ▽応募締切り／十一月二十日
- ▽審査／十二月。広島大学大学院国際協力科長中山修一教授を委員長に広島ユネスコ協会が委嘱する学識経験者で構成する選考委員会で審査
- ▽発表／十二月中旬
- ▽表彰／優れた活動に対して賞状、楯を授与し、表彰
- ▽表彰式／2001年一月二十七日（広島アンデルセン）。恒例の「ユネスコ新春フェスタ」で記念文化行事と同時開催（写真は第一回表彰式）

### 十月八日

### 「へあせんへ」

外国の方々と市民とが楽しく交流しようと、ことしも「へあせんへ」が開催されます。広島ユネスコ協会もこの催しに参画し、子どもたちに、竹細工、ワラ細工、タコづくり、シャボン玉づくりなどのあそびの指導を行います。また、世界遺産写真パネルを展示する予定です。参加をお願いします。

- とき／十月八日（日）十時～
- ところ／基町ハノーバー庭園

## 中国ブロック研究会 広島で開催

### 来年1月、当協会が担当

ユネスコ活動を活発に展開するため全国のユネスコ協会が九つのブロックに分かれて年一回開催するブロック研究会の中国地区の本年度研究会を、広島ユネスコ協会が主管し、日本ユネスコ協会連盟、中国ブロック・ユネスコ協議会、広島県ユネスコ連絡協議会とともに主催します。

まれ、受け入れ、運営などの準備へ向けて当協会で行行委員会を発足させ、作業に入ります。また、この開催が、ご当地宮島のユネスコ結成の機運醸成に一役買うことも期待されます。開催の日時・会場（確定）、内容（予定）は次のとおり。

（日時）2001年二月十七日（土）～十八日（日）

（場所）佐伯郡宮島町 国民宿舎みやじま杜の宿

（テーマ）「世界遺産とわが町の宝もの」（仮）

（内容）基調講演／パネルトーク／事例発表／分科会／厳島神社見学／交流会 ほか

---

### 第95回ユネスコ・サロン

- ▽とき 9月16日(土) 午後1時半～
- ▽ところ 広島アンデルセン
- ▽テーマ 「建築家が見た大学キャンパス」
- ▽講師 日高 卓三氏 (中電技術コンサルタント株式会社 建築本部建築部長、1級建築士)
- ◇会費 千円 (茶菓代含む)

# 活動俯瞰の場

## 全国大会に参加して

亀井 章

南北、新旧が交差して、移ろい、新たな時が始まる。そのような体感を、同行の北川建次会長とともに味わった六月十一日、十二日の全国大会(千葉市)でした。韓国と北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の南北対話、二十世紀最後の全国大会、日本ユネスコ協会連盟の新旧会長交替披露、大会参加・発表の若者の台頭等々、時の移行を意識した次第です。

大会に先立って第12回ユネスコ・日本フェアプレー賞の発表・表彰式が行われ、柔道の田村亮子さんが受賞するという華やかな「アトラクション」に続いて大会が始まりました。

外務・文部両省高官と地元県市首長の挨拶、ユネスコ平和芸術家・バイオリニスト二村英仁氏演奏、「二十一世紀の日本」と題した諸井慶・地方分権推進委員会委員長の記念講演の後、大会の柱、シンポジウム「平和の文化」では、示唆に富んだ発言が相次ぎました。モレシヤン、人類学者、芸術家らのパネリス

トから平和と文化の通念を打ち出す「異なる文化、共通の平和」の視点が多角的に提起されました。

二日目は、テーマ別セミナー。①各協会の再活性化(北村会長参加)②総合的学習(2002年開始)対応③国際青年交流④世界寺子屋運動⑤世界遺産と文化遺産⑥世界遺産と自然遺産と環境、に分かれて、それぞれ各協会からの事例報告に基づいて議論が展開されました。

私が参加したのは、⑤世界遺産と文化遺産。事例報告は鎌倉ユ協「鎌倉の世界遺産登録のとりくみ」。既に暫定登録されている寺院・神社に加えて新たに中世鎌倉の都市構造に目を向けながら、一方古都保存法でカバーし得ない環境を視野に入れた活動が目まぐるしく見られます。

もう一つの事例は、昨年四月結成されたばかりの日光ユ協会が、これも昨年登録されたばかりの日光の世界遺産を保持していくうえで「遺産保持」と「観光」の間で葛藤する模様が報告されました。

そこで目を引いたのが複合視点です。つまり、日光の建造物・自然に止まらず、山嶽信仰・自然崇拜という精神の領域にも踏み込み、片や、宗教の違いを超えた神仏混同という寛容のあり方をも世界の宗教戦争に対比して言及するなど、遺産の意義と価値を最大限に深めようとする活動は大いに教えられるもの

でした。

鎌倉ユ協会の報告の中で「世界遺産登録を推進する活動に加わったのは地元協会では広島ユ協だけ」という発言に思わず得意になって広島原爆ドームに

関する一連の報告をしました。分科会終了後、思いがけなく、「広島見学の節は…」という水戸ユ協の方から声をかけられました。後刻、杉並ユ協の会長、青年部長からも昨年、今年の広島見学時のお礼を受けました。(事務局長)

### 日誌

#### 【三月】

- 十一日・正副会長会議
- 十八日・ユネスコ・サロン「心の時代に寄せて」オルゴール作曲家、ギターリスト／橋本勇夫氏
- ・理事会
- 二二日・知っておきたいヒロシマ講座／最終回「世界の核事情」／広島市立大学平和研究所助教授 水本和美氏
- 二三日・信井正行前会長死去
- 二四日・ブロック研究会担当協会会議／東京／事務局 長

#### 【四月】

- 二八日・杉並ユネスコ協会青年部来広。31日
- 八日・国際平和部会
- 一五日・組織部会
- 二六日・正副会長&部会長会議
- 【五月】
- 十七日・記者会見「わたしの平和宣言署名」
- 二二日・「わたしの平和宣言」街頭署名活動／基町
- 二七日・総会
- ・ユネスコ・サロン「平和と文化」／広島市長 秋葉忠利氏
- ・臨時理事会
- ・懇親会
- 二八日・ユネスコ大邱協会徐千済常任理事来広／折衝

#### 【六月】

- 十日・全国大会／千葉／会長 事務局長。11日
- 十七日・ユネスコ大邱協会との姉妹協会提携協定書調印式
- 二二日・国際交流・協力事業の日会議／由田常任理事
- ・教育部会
- 二三日・広報部会
- 【七月】
- 一日・正副会長&部会長会議
- 二二日・ユネスコ・サロン「韓国は今」広島大学助教 授／李東碩氏
- ・理事会

### 予告

- 〇七月二日／ユネスコ・サロン
- 〇八月 四日／わたしの平和宣言署名活動(広島国際会議場地下2階)
- 十五日／全国一斉「平和の鐘」(平和公園他)
- 三一日／平和宣言署名集約
- 〇九月十六日／ユネスコ・サロン
- 〇十月 八日／べあせろべ
- 二二日／ユネスコ・サロン「現地講座」

**会費の納入を  
お願いいたします**